

月

NEXT STAGE

火

開発 デザイン

水

調達 物



デザインで競争力強化

(川崎市中原区、松下幸夫社長、044・740・3351)は、1968年の創業以来、電気材料の検査装置を主に手がけてきた。長年、センサー関連品を扱ってきた実績を生かし、近年はハンディータイプの肌診断機「ナチュラルセンサー」の開発製造にも乗り出している。デザイン性が問われる製品の開発で、どのような工夫を凝らしているのか、松下社長に聞いた。(横浜・大原翔)

—肌診断機を扱うよ

日本システム研究所社長 松下 幸夫 氏

肌診断機 角度にこだわり

日本システム研究所

(川崎市中原区、松下幸夫社長、044・740・3351)

1968年の創業以来、電気材料の検査装置を主に手がけてきた。長年、センサー関連品を扱ってきた実績を生かし、近年はハンディータイプの肌診断機「ナチュラルセンサー」の開発製造にも乗り出している。デザイン性が問われる製品の開発で、どのような工夫を凝らしているのか、松下社長に聞いた。(横浜・大原翔)

—肌診断機を扱うよ

うになつた経緯は。

「取引先の化学メー

カーが化粧品事業に乗

り出した時、当社が依

頼を受けて肌の水分セ

ンサーを開発したのが

きっかけだ。現在は化

粧品メーカーの販売員

向けに、肌のデータを

活用したタブレット端

末向けアプリケーション

(応用ソフト)と併

せて提供し、販売支援

を行つてゐる

—「デザイン面での工

夫は。

「試作機は自分の肌

に使うことを想定し、

持ち手とセンサーの向

きの角度を直角にして

いたが、販売員は他人

の肌に当てて使うた

め、この角度を150

度ほどに広げた。また

試作機は本体が角張っ

ていたが、握った際に

手にフィットするよう

滑らかなデザインに変

更した

—今のデザインに至

った背景は何でしょ

う。

「化粧品販売店など

で使われるため、店舗

の雰囲気を損なわない

よう洗練されたデザ

インの肌診断機にする必

要があつた。友人の紹

介で知り合つた、持ち

やすいナースコールを

デザインしたデザイナ

ーに依頼し、試作開発

をした。その後、展示

会に試作機を出品して

意見を募り、改良を加

えた

—今後、どのような

事業展開を考えていま

すか。

「化粧品メーカーの

方は『売るのは化粧品

そのものが、きれい

になるというサービス

を提供するつもりで販

売している』と話して

いた。当社もこの意識

を念頭に開発、改良を

進めしていく。このほ

か、海外でスキンケア

に関する医療分野の販

路を開拓することも視

うになつた経緯は。

「化粧品販売店など

で使われるため、店舗

の雰囲気を損なわない

よう洗練されたデザ

インの肌診断機にする必

要があつた。友人の紹

介で知り合つた、持ち

やすいナースコールを

デザインしたデザイナ

ーに依頼し、試作開発

をした。その後、展示

会に試作機を出品して

意見を募り、改良を加

えた

—今後、どのような

事業展開を考えていま

すか。

「化粧品メーカーの

方は『売るのは化粧品

そのものが、きれい

になるというサービス

を提供するつもりで販

売している』と話して

いた。当社もこの意識

を念頭に開発、改良を

進めしていく。このほ

か、海外でスキンケア

に関する医療分野の販

路を開拓することも視